

魅力

まちめぐり・まち景観

体験・イベント



## 「朝」と「夜」の観光資源を活かし 滞在したくなるまちに

長年に渡る継続した「朝市」の取り組みや、「夜景」の質的向上、歴史的建造物のライトアップ、イルミネーションイベントなどにより朝夜の観光資源を活かし、「函館」ブランドとして発展・向上させるとともに、東洋と西洋、歴史と伝統など多様な文化が交わる国際観光都市として、外国人観光客の誘致に積極的に取り組み、約400万人の宿泊者数を維持している。



冬季観光の起爆剤となったクリスマスファンタジー

### 宿泊者数

年次	宿泊者数	(うち外国人 函館市統計)	北海道統計
平成14年(2002)	410万人	(3.9万人)	
平成15年(2003)	406万人	(3.0万人)	
平成16年(2004)	390万人	(3.8万人)	
平成17年(2005)	394万人	(5.1万人)	
平成18年(2006)	414万人	(5.5万人)	

取組

案内・情報提供

景観保全・環境整備

人材育成

体験・イベント開催

### 「朝」の魅力創出・向上

昭和62年、力を結集し強力な組織を造るため函館朝市協同組合連合会を設立。平成7年から信用と営業の秩序を保ち利用者に安心して利用してもらうため、遵守事項を定めた推奨店制度を導入している。事業者・地元客・観光客の意識調査や接客マニュアルの作成、勉強会を行うなど事業者の意識改革を行ってきた。

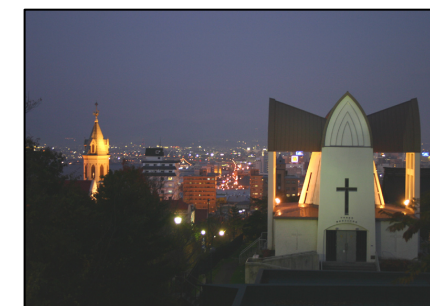
また、観光客の利便性増進のため、朝市ガイドマップの発行やホームページでの情報発信、湯の川温泉街との間に無料シャトルバスの運行等を行い、修学旅行生の職場体験学習の受け入れや、イカ釣・調理体験施設の設置、イベントの開催などに取り組んでいる。現在は、早朝から活気に溢れ観光客を中心に年間約200万人が訪れる観光スポットとなっている。



観光客で賑わう朝市

### 「夜景の街」ブランドの向上

函館市では、歴史的建築物等のライトアップや観光街路灯の整備を実施していたが、平成15年度に夜景診断調査を行い、建築物の更なる整備や企業・市民も交えた整備により、函館山からの美しい夜景の向上や夜景見学と連携した夜間の市街地散策を促して、宿泊者数維持に貢献している。函館の夜景は台湾からの観光客を中心に、韓国等、外国人にも人気が高い。



散策を促す夜間景観

### 「冬夜景」の魅力創出

低迷する函館の冬季観光を改善するため、観光コンベンション協会や市民ボランティアが、「はこだてクリスマスファンタジー」・「五稜星の夢」・「はこだて冬フェスティバル」などイルミネーションイベントを実施。冬期間継続的にイベントを行うことにより観光客数は伸び、平成9年度に約52万人であった冬期間の宿泊者数は、現在約82万人となっている。



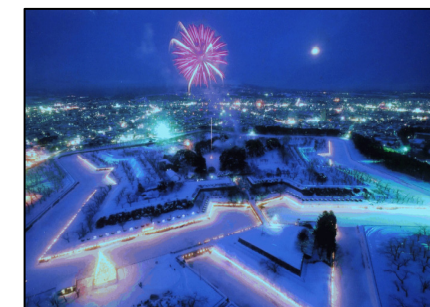
はこだてイルミネーション

### 国際観光都市

海外から豪華客船が入港する際に、高校生や善意通訳会による観光ボランティア案内や市長をはじめとする官民一体となった訪問団を編成し、航空会社や旅行社に対し観光客の送客を依頼する海外プロモーションを実施し、台湾人を中心に外国人観光客が増加している。



高校生による観光ボランティア



“五稜星の夢”特別史跡五稜郭跡

北海道函館市商工観光部観光振興室観光課  
TEL:0138-21-3324 URL:http://www.city.hakodate.hokkaido.jp

滞在力のある観光地